

聞きたい

第2回定例会の一般質問は、6月10日・13日・14日・15日の4日間で行われ、20名の議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第2回定例会の本会議の録画映像は、市ホームページのインターネット映像配信でご覧いただけます。会議録は、8月下旬から、市ホームページ（PDF版は8月中旬）または、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー（市役所1階）でご覧いただけます。



本会議の進行を務める篠宮正明議長

市財産の狭小地を有効活用せよ！

引問 太一
(ニューウェーブ)



質問 道路整備等により生じる残地等、売却などに適さない普通財産の狭小地の活用方法については、例えば宅配業者の置き配ボックスの設置など、利用価値があると考える。無駄なく活用できる利用法の検討状況を伺う。

答弁 普通財産は、台帳、公図で把握している。改めて現況確認を行い、活用方法等検討を行っていききたい。

質問 川崎市では農産物加工品や地域の名産品を集めた「イイモノ直売所自販機」が、駅地下街に設置された。コロナ禍での社会変革に対応した新たな販路開拓の取り組みとして紹介されたが、市でも同様にできないか伺う。

答弁 物流や設置場所、商品開発、取り組みの持続性や効果など、様々な調査・研究が必要と考える。川崎市の取り組みを注視しながら、市内で実施することの効果等について市内事業者の方にも話を伺ってみたいと考えている。

脱炭素化社会の実現に向けて！

当麻 一哉
(自民クラブ)



質問 地球温暖化対策実行計画について、公共施設改修工事等における省エネに向けた仕様の推進と次期計画の基本的な考え方は。

答弁 日常業務における取り組みとして、温室効果ガスを排出する機器や機械等の適正使用を実践する環境配慮行動の推進に取り組むとともに、公共施設改修工事に伴う設備機器の更新に際しては高効率設備の導入に努めることとしている。次期計画の策定に当たっては、国の「脱炭素化の推進方針」も勘案する必要があると考えている。

質問 公共施設マネジメントについて、①既存施設の脱炭素化の取り組みは、②建物の断熱効率を高める改修方法は取り入れられているのか。

答弁 ①関係部署と連携し、検討を進めたいと考えている。②建物棟の基本性能維持と劣化防止を図る予防保全工事として実施している。

若い世代が移り住むまちに

野島 武夫
(自民クラブ)



質問 若い世代が移り住み、生産年齢人口を増やす施策は。

答弁 その実現に向け、重点的取り組みの一つとして子どもたちへの投資を掲げ若い世代にとって魅力あるまちづくりを進めている。

子育て支援はもろろんのこと、子どもたち自身への支援に重点を置いた投資は、次世代にも住み続けていただけような、このまちの明るい未来への投資でもあると考えている。

質問 今後の取り組みだけでなく、これまでの行政の取り組みも確実に実を結んでいると考えている。現在、開発が進む上の原地区はさまざまな商業施設が並び賑わいを見せている。新築住宅の状況は。

答弁 住宅地区Aについて、事業者からは新築住宅の契約状況も堅調であり、また、お住まいの方からも好評であると考えている。

フードドライブ！食品ロス削減へ

高橋 和義
(公明党)



質問 食品ロス削減への取り組みについて、まずはごみ対策課からフードドライブを実施してみたいはどうか。

答弁 食品ロス削減への取り組みは、ごみ減量化に大きな効果のあるものと認識しており、各市の状況を研究しているところである。なるべく早い時期に設置できるよう取り組んでいきたいと考えている。

要望 取り組み開始の際は、広報などで積極的に周知を行ってほしい。

質問 道路等の不具合を手軽に投稿できるMCR（道路通報システム）の導入について、見解を伺う。

答弁 当該システムは道路状況把握の手段となるほか、通報後の対応状況を市民と情報共有できるなどの利点が考えられる。調査・研究をしていきたい。

要望 アプリ導入の検討の際は、東京都との連携がしやすくなるという点を踏まえ検討してもらいたい。

効果的な雑草除去を考えよう

三浦 猛
(公明党)



質問 道路等の雑草除去作業について、現在の対応手法と経費を伺う。

答弁 草刈り機等や防草シートで対応している。道路植栽については、5月9日、1月頃の年3回の実施、経費は今年度予算で約800万円。遊歩道については、6月、9月、12月頃の年3回で、同じく500万円を計上している。

質問 温水除草という手法がある。100度近い温水を散布することで、植物のたんばく質の構造を変え、雑草を効果的に根絶やしにする。ある団体の実証実験の結果、散布後1週間程度で一度枯らし、その後の成長を抑制することが確認できた。1キロ区間の費用対効果は、通常であると6日間かけて180万円、温水除草の場合、3日間で90万円であった。当市でも実験してみたいかがか。

答弁 今後、施工する場所などの事例も含めて情報収集をしてまいりたい。

デジタルポイント享受へサポートを

阿部 利恵子
(公明党)



質問 デジタル・デバインドの視点から、①マイナポイント事業、②キャッシュレス決済還元事業について伺う。

答弁 ①普及促進に向け、広報での周知とともに、ホームページも分かりやすいものとなるよう見直しを行っている。②消費者向けに、実際にアプリでの決済の体験を盛り込んだ丁寧な説明会を実施できるよう調整している。

質問 保育園での使用済みおむつの持ち帰りについて、①市内保育園の状況は、②保護者の負担軽減、感染防止の観点からも、選択肢を残しながらまずは公立園で持ち帰りを止める検討を進めてほしいかがか。

答弁 ①37保育施設のうち、原則保護者持ち帰りが19施設、施設での廃棄が18施設、公設公営保育園5園は保護者にお持ち帰りをいただいている。②都内26市の公設公営保育園での取り扱いの聞き取りなど調査・研究していく。

小学校の体育館にもエアコンの設置を

永田 雅子
(日本共産党)



質問 体育館のエアコン設置は令和5年度までの都の補助金を活用すべき。この事業を単年度で行うことは可能か。

答弁 都が期間延長した「東京都公立学校屋内体育施設空調設置支援事業」では、当該の空調は、リースによる整備というスキームになっている。この形を活用するならば、設計から設置工事、保守管理までを含めた契約となり、単年度での導入は可能と考えている。

質問 4月から、直営および委託を含めた市内の全学童保育所で延長育成が行われている。利用状況はいかがか。

答弁 概ね順調と確認している。

すべての公立保育園の存続を！

村山 順次郎
(日本共産党)



質問 東久留米市保育サービスの施設整備・運営及び提供体制に関する実施計画の見直しにあたり、子ども・子育て会議に諮るべきと考えるが、市の見解は。

答弁 実施計画は、策定後に子ども・子育て会議に資料として提示するなど情報提供の中で意見を伺うこともあった。このような形で今後も検討したい。

意見 保育の提供体制の確保方策の変更に伴うのであれば、子ども・子育て会議に諮るべきだと主張する。

質問 小学校に英語の専科教員が配置されるよう東京都教育委員会に求めるべきではないか。

答弁 英語の専科教員の配置に関わらず、機会を捉えて学校の意見や要望などを国や都に伝えていくことは大切だと思っている。本市の実情をよく踏まえ、教育長会の場等を利用して情報交換をしていきたいと考えている。

「やれる」できる「市役所とは…？」

青木 佑介
(市民自治フォーラム)



質問 デマンド型交通について、事前のパブリックコメントの回答にて「頂いたご意見は必要に応じて地域公共交通会議に諮るなどの対応を考えている」とあるが、どのように諮るのか。

答弁 利便性の向上や今後の方向性の検討に向けた指標の設定などさまざまな議題を会議に提起できるよう、申請状況や利用状況などの実績の把握に努めているところである。

要望 利用していない、できない方々の意見聴取を行い、利用拡充について議論してほしい。

質問 公共施設利用について、電子予約しても、事前に施設へ支払いに行かないといけないのは不合理ではないか。当日支払いを認めるべきと考える。

答弁 利用者が安心・安全に利用できるよう準備を着実に進めたい。利用前日までに使用料を納入してもらうことで予約を確定している。

「コロナ禍での子どもの支援の充実を

問宮 美季
(市民自治フォーラム)



質問 東京都の子供食堂推進事業について、申請の希望があった場合の市の対応について伺う。

答弁 関係団体のお話は伺いたいと思うが、子ども食堂に対する支援は、新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用を第一に考えている。

質問 3月の予算特別委員会前で教育部長は「図書館の運営方針に記載がないので、利用者懇談会は設置しない」という考え方が当時あったのではないかと考える」と述べたがその根拠は。

答弁 その部分に特化した議論は私どものほうでも確認できなかった。

質問 同委員会における前教育部長の答弁と、前教育長の「具体の市民の参加方法まではこの運営方針では記載していない」という答弁には矛盾があったと考えるが、教育長の見解を伺う。

答弁 改めて議論について十分に精査した上で判断する。